



遠野市水道事業基本計画の改訂について

【発表の要旨】

市は、平成 21 年 3 月に策定した「遠野市水道事業基本計画（遠野市水道ビジョン）」の改訂作業を始めました。改訂における視点等についてお知らせします。

【発表の内容】

1 改訂の必要性

- (1) 経営環境の変化への対応
 - ・昭和 50 年代に集中して整備した施設の更新時期を本格的に迎えている。
 - ・人口減少に伴う収益の減少が見られ、施設の維持管理が困難になりつつある。
- (2) 「東日本大震災」被災で経験した水道施設の脆弱性への対応
 - ・老朽施設の維持管理が困難、老朽管路の計画的更新が重要。
 - ・管路重視から浄水施設重視への計画の転換。
 - ・水質悪化、浅井戸水位低下への的確な対応。

2 改訂における視点

- (1) 市民アンケート結果を反映した災害時においても「安全な水質で安定した給水、災害に強く、料金が安い水道」を目指すこと。
- (2) 施設更新に掛かる費用は、企業債、企業会計留保資金、国庫補助金などの有利な資金を優先的に活用する。
- (3) 水道料金を値上げせずに施設更新を行うため、一般会計からの財政支援を検討する。
- (4) 災害に強い水道施設を築くため、老朽管については、耐震管への更新を優先的に進める。
- (5) 水位低下等がみられる浅井戸を水源とした簡易水道浄水施設にあっては、水道水の安定供給を図るため、統廃合も視野に入れた浄水施設の更新を行う。
- (6) 施設更新計画と合わせた長期的な経営シミュレーションを行い、経営の健全化に努める。

3 今後の予定

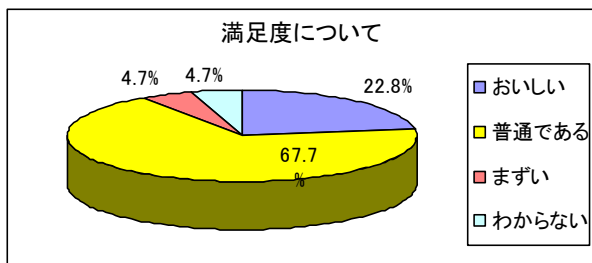
- | | |
|------------------|-------------------------|
| ・平成24年 6 月25日（月） | 政策会議による検討（第1回） |
| ・平成24年 7 月上旬 | 政策会議による検討（第2回） |
| ・平成24年 7 月下旬 | 政策会議による検討（第3回） |
| ・平成24年 8 月中旬 | 市長決裁による改訂版遠野市水道事業基本計画策定 |
| ・平成24年 9 月上旬 | 議員全員協議会による説明 |
| ・平成24年 9 月中旬 | 市民への公表 |

担当	環境整備部水道事務所（齊藤） 電話 0198-62-2111（内線 860350）
----	--

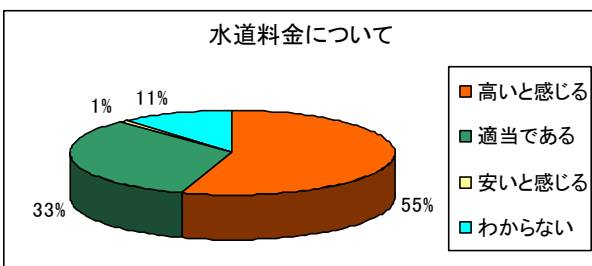
[参考]

アンケート調査結果

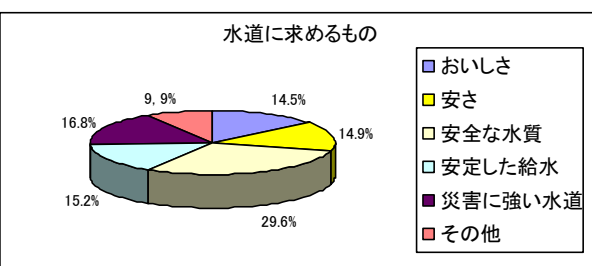
- 1 調査期間 平成24年 1月17～27日
- 2 調査方法 市水道利用者の中から 470名を無作為に抽出して依頼
- 3 回収件数 211件（回収率44.9%）



①満足度について
「おいしい」と「普通である」という回答が9割を超えており、総体的に一定の満足と理解が得られているものと判断される。



②水道料金について
6割を超える利用者が「水道料金が高い」と感じている。「適当である」は2割に留まり、「わからない」は、自家用水道を所有する方に多く見られた。



③水道水に求めるものについて
「安全な水質」が最も多く、次に「災害に強い水道」に関心が集まった。前回は「料金を下げて安価に」が最も多い回答であったが、東日本大震災以降、安全性についての関心が高まっている。

- [寄せられた意見]**
- ・ 災害時でも安心な水道……………8
 - ・ 安心して飲みたい……………6
 - ・ 水道に関する情報公開を……………3
 - ・ 水圧が低い……………2
 - ・ 水道工事費用がわからない……………1
 - ・ 遠野の水はおいしい……………2
 - ・ 高い料金を下げて……………6
 - ・ 水質に不安……………6
 - ・ 水がおいしい……………2
 - ・ 災害時の給水等のPR……………1
 - ・ サービス向上を……………1

[総括]

今回のアンケート結果は、前回のアンケートで最も関心が高かった「水道料金」が、平成23年3月11日の東日本大震災の影響もあり、「安全な水質」「災害に強い水道」に市民の関心が変わりました。水道法で定められている水質基準を満足させ、安心・快適な水道水を安定して供給するためには、老朽化した水道施設の更新と施設の維持管理に努めなければなりません。さらには、適正な設備投資により健全経営を堅持しつつ、現行料金を維持する必要があります。

また、将来にわたって水道事業を運営していくためには安定した給水収益が必要であり、その理解を得るための利用者への十分な説明は欠かせないものです。お客様に提供するサービスの質の向上が求められています。